

環境マネジメント

ムラタでは環境経営を効率的に行うためのマネジメント体制のもと、グループでのISO認証統合、環境監査、環境教育の実施によって、グループが一体となった環境経営を推進しています。

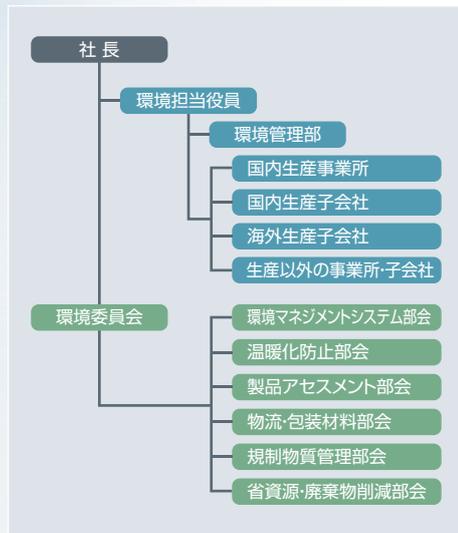
環境経営推進体制

グループ一体となった環境経営

ムラタではグループ全体の環境活動の統括責任者として環境担当役員をおき、環境管理部が、ムラタの環境活動を推進する役割を果たしています。また、社長の諮問機関として環境委員会を設置し、グループ各社の取り組み状況や、全社の環境課題について検討・審議しています。さらに環境委員会の下部組織であるテーマ別の部会が、それぞれの取り組み課題を抽出して具体的な対策を立案しています。

2007年度からは、設計・開発段階から環境負荷低減検討を強化するため、環境委員会に事業本部メンバーを加え、いっそうの環境負荷低減に取り組んでいます。

環境経営推進体制



環境監査

3通りの内部監査で問題点を是正

ムラタでは、生産事業所・生産子会社ごとに3種類の内部監査を実施しています。

2006年度の内部監査の結果、国内村田製作所グループ全体で、不適合が4件、要改善事項が298件ありました。このうち2006年度末までに290件の是正を完了しました。残り8件については2007年7月末までに全て完了しました。

ムラタの3種類の環境内部監査

監査名	監査の内容
事業所自己完結型内部監査	日常業務の中で管理基準を定め、運用の監視および不適合事項の発見とその是正を行います。さらに年に1回、内部環境監査チームによる監査を実施し、各種ルールが確実に運用できているかどうかを調べています。
環境管理部による監査	外部審査機関による審査の補完、および事業所内部監査では踏み込めない専門的な部分の監査を目的とし、定期的に実施しています。
監査役による監査	子会社や事業所の環境マネジメントシステム構築とその運用が適切かつ確かな、全体的整合性をもって遂行されているかを監査役の立場から年1回調査検証し、必要に応じて意見を述べます。



社内報「Journal Murata」で毎年環境特集を企画し、全社取り組みテーマの進捗状況や対策事例を紹介することで、情報や課題を共有しています。

環境教育と啓発

従業員一人ひとりの環境意識を向上

ムラタでは経営トップの示す環境ビジョン・方針や各部署の活動を従業員全員が理解できるよう、さまざまな環境教育の機会を設けています。

新入社員・一般社員・管理職という各階層を対象とした研修に加え、内部監査員を養成するための講座の開催や、化学物質を扱うといった環境負荷の高い業務の従事者に対する個別教育などを実施しています。



内部環境監査員を養成する社内講座は、演習を多く取り入れ、実践向けの内容としています。



掲載情報

● ISO 14001 認証取得状況

▶ <http://www.murata.co.jp/csr/environment/02.html>